



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年11月7日

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所 東
コード番号 2790 URL <https://www.nafco.tv>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 石田 卓巳
問合せ先責任者（役職名） 経営企画部長（氏名） 増本 雄一（TEL）093-521-8596
半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	90,993	△5.8	1,833	106.5	1,710	89.1	813	134.8
2025年3月期中間期	96,636	△4.8	888	△78.8	904	△78.5	346	△86.1

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	33.07	—
2025年3月期中間期	12.93	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期中間期	223,125	154,084	69.1	6,267.99
2025年3月期	225,195	153,956	68.4	6,262.80

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 154,084百万円 2025年3月期 153,956百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
2026年3月期	—	29.00			
2026年3月期（予想）			—	29.00	58.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	173,080	△4.8	2,700	113.2	2,763	107.8	1,260	585.3	51.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記(4) 中間財務諸表に関する注記事項(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	29,784,400株	2025年3月期	29,784,400株
2026年3月期中間期	5,201,723株	2025年3月期	5,201,723株
2026年3月期中間期	24,582,677株	2025年3月期中間期	26,776,403株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10
3. 補足情報	11
(1) 商品部門別販売の状況	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間(2025年4月1日から2025年9月30日)におけるわが国経済は、雇用が改善し名目賃金の増加等により緩やかな景気の回復が見られる一方で、米国の関税政策、不安定な国際情勢、中国経済の減速、エネルギー価格の高止まりなど、先行き不透明な状態が継続しております。

小売業界におきましては、物価上昇を背景にした節約志向による個人消費の停滞や、原材料費、人件費、物流費などが上昇し、経営環境は厳しさを増しております。

営業の概況としましては、異業種含む競合各社との競争激化や、昨年8月の日向灘地震や台風10号の影響で防災用品需要の反動減もあり、売上高は前期より減少いたしました。一方で、販売費及び一般管理費につきましては、依然として電気代が高止まりしておりますが、物流センターや店舗配送の運用の見直しを行い、物流費、配送費の削減ができたこともあり、前期より減少いたしました。

また、新規出店につきましては、2店舗の新設を行い、退店につきましては3店舗の閉設を行い、当中間会計期間末における店舗数は34府県にわたり359店舗となりました。

これらの結果、営業収益は909億93百万円(前年同期比5.8%減)、営業利益は18億33百万円(前年同期比106.5%増)、経常利益は17億10百万円(前年同期比89.1%増)、中間純利益は8億13百万円(前年同期比134.8%増)となりました。

(セグメント別状況)

①資材・DIY・園芸用品

米不足の影響もあり、玄米保冷库や米収穫用品などが大きく伸長しました。その他猛暑の影響で、夏物衣料や散水用品などが好調に推移しましたが、昨年8月の日向灘地震や台風10号の影響で需要が高まった防災用品や台風対策用品の反動減がありました。その結果、売上高は442億22百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

②生活用品

随意契約の政府備蓄米の販売を行ったこともあり、米は大きく伸長しました。その他冷蔵庫やクリーナーなどの家電製品、果実酒瓶や漬物樽などの漬物用品も好調に推移しましたが、殺虫剤、洗濯洗剤、アウトドア用品が低調でした。その結果、売上高は237億12百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

③家具・ホームファッション用品

折りたたみラグカーペットやソファベッドなどは好調に推移しましたが、ベッドや食卓セットなどが低調でした。その結果、売上高は149億92百万円(前年同期比9.1%減)となりました。

④その他

自転車やカー用品は好調に推移しましたが、ドッグ・キャットフードなどのペット用品が低調でした。その結果、売上高は76億81百万円(前年同期比6.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間会計期間末の総資産は、2,231億25百万円(前事業年度末比20億69百万円減)となりました。減少の主な要因は、有形固定資産の減少(前事業年度末比14億23百万円減)によるものです。

負債は、690億41百万円(前事業年度末比21億97百万円減)となりました。減少の主な要因は、設備関係支払手形の減少(前事業年度末比22億89百万円減)によるものです。

純資産は、1,540億84百万円(前事業年度末比1億27百万円増)となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加(前事業年度末比1億0百万円増)によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末と比較して2億69百万円減少し、153億37百万円となりました。各キャッシュフローの状況とその要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、60億9百万円(前年同期比8億67百万円の増加)となりました。これは主に、税引前中間純利益14億26百万円、減価償却費29億26百万円、未払消費税等の増加額14億63百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、43億2百万円(前年同期比24億40百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出38億16百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、19億77百万円(前年同期比2億0百万円の減少)となりました。これは主に、リース債務の返済による支出9億34百万円、配当金の支払額7億12百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の業績予想につきましては、2025年5月9日に公表した決算短信の業績予想から変更はございません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位: 百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,500	18,009
売掛金	4,536	3,781
商品	64,282	65,921
その他	2,911	1,674
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	90,228	89,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	65,279	64,343
土地	49,321	49,326
建設仮勘定	629	541
その他(純額)	5,763	5,358
有形固定資産合計	120,994	119,570
無形固定資産	3,651	3,828
投資その他の資産	10,321	10,343
固定資産合計	134,966	133,741
資産合計	225,195	223,125
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,605	11,651
電子記録債務	-	10,856
短期借入金	18,355	18,025
未払法人税等	307	832
未払金	3,839	3,754
設備関係支払手形	2,842	553
賞与引当金	936	937
役員賞与引当金	20	-
資産除去債務	52	266
契約負債	2,978	2,983
その他	3,766	4,000
流動負債合計	55,703	53,861
固定負債		
退職給付引当金	2,972	2,938
役員退職慰労引当金	774	822
資産除去債務	6,701	6,763
その他	5,087	4,655
固定負債合計	15,535	15,180
負債合計	71,239	69,041

(単位:百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金	4,223	4,223
利益剰余金	156,419	156,519
自己株式	△10,401	△10,401
株主資本合計	153,779	153,879
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	177	204
評価・換算差額等合計	177	204
純資産合計	153,956	154,084
負債純資産合計	225,195	223,125

(2) 中間損益計算書

(単位: 百万円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	96,289	90,609
売上原価	64,534	59,426
売上総利益	31,755	31,182
営業収入	347	383
営業総利益	32,102	31,566
販売費及び一般管理費	31,214	29,733
営業利益	888	1,833
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	11	13
受取手数料	42	32
受取保険金	22	22
その他	73	63
営業外収益合計	150	133
営業外費用		
支払利息	90	128
災害による損失	30	106
その他	13	20
営業外費用合計	133	256
経常利益	904	1,710
特別利益		
固定資産売却益	36	-
受取保険金	-	194
特別利益合計	36	194
特別損失		
固定資産除却損	75	34
減損損失	10	443
災害による損失	305	-
特別損失合計	391	478
税引前中間純利益	549	1,426
法人税等	203	613
中間純利益	346	813

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	549	1,426
減価償却費	2,950	2,926
減損損失	10	443
無形固定資産償却費	125	125
長期前払費用償却額	23	28
有形固定資産除却損	75	34
有形固定資産売却損益(△は益)	△36	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△28	△33
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9	47
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△31	△20
賞与引当金の増減額(△は減少)	51	1
受取利息及び受取配当金	△11	△15
受取保険金	-	△194
支払利息	90	128
災害による損失	305	-
売上債権の増減額(△は増加)	378	761
棚卸資産の増減額(△は増加)	728	△1,635
仕入債務の増減額(△は減少)	1,014	△97
未払消費税等の増減額(△は減少)	△627	1,463
その他の資産の増減額(△は増加)	△136	69
その他の負債の増減額(△は減少)	△98	133
その他	37	9
小計	5,381	5,600
利息及び配当金の受取額	11	15
保険金の受取額	-	194
利息の支払額	△98	△128
法人税等の支払額	△152	△121
法人税等の還付額	-	448
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,142	6,009

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,625	△3,816
有形固定資産の売却による収入	36	-
無形固定資産の取得による支出	△141	△341
固定資産の除却による支出	△70	△33
資産除去債務の履行による支出	△28	△32
敷金及び保証金の差入による支出	△66	△27
敷金及び保証金の回収による収入	92	32
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△57	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,861	△4,302
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△135	△330
長期借入金の返済による支出	△8	-
リース債務の返済による支出	△857	△934
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△776	△712
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,777	△1,977
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,503	△269
現金及び現金同等物の期首残高	30,104	15,607
現金及び現金同等物の中間期末残高	31,607	15,337

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	中間損益 計算書計 上額(注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	46,164	25,464	16,487	88,116	8,172	96,289	96,289
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	46,164	25,464	16,487	88,116	8,172	96,289	96,289
セグメント利益	16,231	6,507	6,645	29,384	2,371	31,755	31,755

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

II 当中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	中間損益 計算書計 上額(注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	44,222	23,712	14,992	82,927	7,681	90,609	90,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	44,222	23,712	14,992	82,927	7,681	90,609	90,609
セグメント利益	15,897	6,719	6,239	28,856	2,326	31,182	31,182

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、中間損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間会計期間より商品管理体制を見直し、商品区分セグメントの一部商品について「資材・DIY・園芸用品」から「生活用品」へ区分変更を行っております。

なお前中間会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3. 補足情報

(1) 商品部門別販売の状況

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日) (至 2024年9月30日)		当中間会計期間 (自 2025年4月1日) (至 2025年9月30日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	46,164	47.9	44,222	48.8	95.8
生活用品	25,464	26.5	23,712	26.2	93.1
家具・ホームファッション用品	16,487	17.1	14,992	16.5	90.9
その他	8,172	8.5	7,681	8.5	94.0
計	96,289	100.0	90,609	100.0	94.1

(注) 1. 当中間会計期間より商品管理体制を見直し、商品区分セグメントの一部商品について「資材・DIY・園芸用品」から「生活用品」へ区分変更を行っております。なお前中間会計期間の数値については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

2. 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材、農業資材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、カジュアル衣料、食品、ヘルス&ビューティー、アウトドア用品、バラエティ
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他